



会長あいさつ

日頃より、単位PTAはもちろんPTA連合会の様々な活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年度のテーマ「さらに共有！共学！共育！」にそってタイムリーな内容を発進できるよう努めています。活動を通して子どもたちの笑顔やがんばる姿に嬉しく、感動を頂いています。

この笑顔のために、学校・家庭・地域との連携をさらに深めたいと考えます。

今後の活動におきましてもどうぞ皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

すべては子どもたちのために



松山市小中学校
PTA連合会会長
高田 智世

親子ふれあい*食育レストラン Vol.9 & ニンジャマックス



10月15日(土)松山市野外活動センターにて開催しました。
またとない晴天に恵まれて、1000人の参加者は、それぞれ工夫を凝らしたピザを作り、美味しく楽しく食べました。
お腹がいっぱいになった後は、ニンジャマックスで体を動かし、自己記録に挑戦していました。





第64回日本PTA全国研究大会
第45回日本PTA四国ブロック研究大会

徳島うずしお大会

阿波踊りでおもてなし

「とても楽しく素晴らしい大会でした。参加してよかったです。」参加された皆さんからこのような声が聞かれました。

平成28年8月20日と21日の2日間にわたり『徳島発！渦巻く力を これからの社会に巣立つ子どもたちのために～まけまけいっぱい愛を注ぎ込もう！～』をスローガンに、徳島県において第64回日本PTA全国研究大会が開催されました。

「まけまけいっぱい」とは徳島の方言で「あふれそうなくらい」という意味だそうです。あふれそうなくらいの子ども愛がいっぱいみなさん5000人が集まりました。

初日は7つの会場に分かれて、PTA組織運営、学校教育、社会教育などのテーマごとに、社会に巣立つ子どもたちのために何ができるのかを考える分科会が開かれました。2日目の全体会は『輝く未来をひらくために大切なこと』～子どもたち、そして私たちが自立するために～をテーマに、徳島県出身の漫画家竹宮恵子氏の講演会が、アスティとくしまで開かれました。竹宮氏の体験談をまじえながら、夢をもつこと、そして自分自身を想像することが自立することにつながる。そのために私たちは何をすべきか？を問いかけるものでした。

大会の各テーマ、内容はとても素晴らしいものでしたが、さらに素晴らしかったのは、全国から集まった私たちを一生懸命にもてなしてくれた、徳島県PTAの方々のおもてなしでした。

各分科会会場への道々に気温30度を超える炎天下、のぼりをもって立っていただいた方々、駐車場整理に汗を流してくれた方々、受付やステージで進行がスムーズになるよう尽力されていた方々、ほんとうに一生懸命に迎えていただいたことに感動し、わたしたちも見習うことが多かったです。

また初日の分科会が始まる前に、アトラクションとして徳島県内の小学校、中学校、高校生、一般の方々によるダンス、ミュージカル、合唱などが各分科会場であり、全体会では阿波踊りの連(れん)の方々に勇壮な実演をいただき、徳島県の良さを改めて知る良い機会になりました。

来年は仙台市にて第65回PTA全国研究大会が開催されます。東日本大震災から6年が過ぎ、復興に尽力する仙台のみなさんと一緒に語り合ってみませんか？違った自分や価値観に出会えるかもしれません。(Y・O)

会長副会長会

(H28.5.28 いよてつ高島屋ローズホール 218名参加)

講師 竹内和雄先生(兵庫県立大学環境人間学部准教授)
「スマホ時代の大人が知っておきたいこと」

「『スマホの問題は心の問題』という先生のお話意外性を感じながらも、理解できました。」

と、参加された方から感想をいただいています。

「子どもがスマホを持った時にトラブルに巻き込まれないように、家庭でルールを作り、親子で使い方を充分に話し合っただけで持たせていくべきかなと思いました。」

といった『子どもと親の会話の大切さ』についての感想が多数ありました。とてもわかりやすく、興味深い講演会となりました。

広報紙づくり研修会

(H28.7.5 青少年センター 30名参加)

講師 愛媛新聞社の皆様

[インタビュー記事の書き方、効果的な写真の撮り方などの解説・単位PTA広報紙へのアドバイス]



実際にインタビューをして、記事を書いてみました。講師の皆様も感心される新聞ができあがりました。

新聞づくりのキーワードは「伝える」
正確に・分かりやすく・具体的に・読みやすく→多くの人が、読みたくなる新聞にしましょう。

合同専門部会

(H28.7.9 松山市総合コミュニティセンター 270名参加)

愛媛家庭教育応援学習プログラムより

学校教育部 「今どきの子育て」「好きな人ができたみたい」

家庭教育部 「早寝・早起き・朝ごはん」

「仕事と家庭のバランスは取れていますか？」

社会教育部 「子育て応援団」「子どもは地域の宝」

初対面の4人グループで、上記テーマのワークショップを行いました。始めのゲームですぐに打ち解けて、参加者一同、笑顔で活発に自分の意見を発言していました。

同じ悩みを持っているという安心感と、様々な対処方法のアイデアがでて、悩みの解決の糸口を得ることができました。

第1回読書推進委員会

(H28.9.21 松山市中央図書館 24名参加)

図書館ツアー

「我々の知らない図書館の内側を知り、もっと大勢の方々が頻りに利用するべきだ。利用しないともったいない。」と感じたツアーでした。

* 編集後記 *

皆さまの積極的な参加によりまして笑顔がたっぷりのイベントが順調に開催できています。

感謝です m(_)_m

気が付けば残すところあと、わずかになりました。

引き続きましての参加をよろしくお願いいたします！